



坂下東小学校だより

# 坂下ひがし

坂下東小学校

令和6年1月30日

No. 18

## ロベルト・ノリオ校との交流



1月15日～19日の1週間、ブラジルのサンパウロにあるロベルト・ノリオ校との交流がありました。この交流事業は金上小学校時代から続くもので、今回は7人の子どもたちと3人の先生方がおいでになりました。ほんの少しだけ日本語が通じるので、一緒に学習活動に混ざったり、特別のカリキュラムを組んで地域の方に教えてもらったりしました。けん玉をしたり、お茶や着物の日本文化に触れてみたりしていました。季節がら、団子さしも体験していました。また、雪が降った日には、校庭で雪だるまを作っていました。日本人が作る雪だるまと違って3段に分かれた雪だるまでした。



英語の授業では一緒に授業を受けていました。授業への積極的な姿勢が日本人とは違っていたと聞きました。何でも学んで吸収しようとする心構えができているのだろうなと感じます。逆に言えば、ここが日本人の弱さなのかもしれません。

休み時間には子どもたち同士の交流も盛んでした。一緒にバスケットボールをしている姿も見られました。交流を通して、学んだことをこれからの学校生活に生かしていけたらと思います。

最終日には、全校生でお別れ会をして、見送りをしました。ブラジルの子どもたちからは、ぜひ、夏休みにはブラジルに来てほしいとのことでした。日本とは全く正



対の地球の裏側です。飛行機で30時間もかかるそうです。「世界は広い」ということを学んだ1週間となりました。ブラジルの子どもたちからたくさんのお土産もいただきました。各家庭でもご覧になったかと思いますが、貴重な経験をさせてくれたブラジルの子どもたちに感謝したいと思います。

# 本校の課題はどこにある

年度末が近づいてきて、先生方とともに1年間を振り返る時間が出てきました。子どもたちの学習や生活の様子から大きな課題が見えてきています。それは、「思考力・判断力・表現力」です。この観点は通知表でそれぞれの教科の観点にもなっています。「知識・技能」という観点に比べて、ここの評価が低いというのが全学年を通じて言えることです。

実は、この観点は非常に重要な意味を持っています。現代はネット社会になって知識や技能面は調べればいとも簡単に達成できます。調べる方法が確立されているので、知識として覚えることは拡大していきません。

しかし、様々な情報をもとにしながらか取捨選択し、判断してよりよい考えを導き出していくことが必要です。AIがその役目を果たしていくことになるのですが、それでは考えない人間となってしまいます。問われているのは、正解のない社会の中で自分なりの解を見つけて主体的に生きることです。そのための土台が思考力・判断力・表現力です。

これからの社会を生き抜いていく子どもたちが必要な力を身につけられるよう改善に努めていきます。

## めぐみの雪

今年の冬は、あまりにも雪が少なくてびっくりです。こんなに雪のない冬はありません。けれども先週の雪で少しだけホッとしました。1年生のそり遊びは中止となってしまいましたが、2年生はなんとか実施することができました。来週には、3・4年生のスキー教室が予定されています。この雪で実施できそうなのでホッとしました。

- 会津坂下ロータリークラブから学校に置き傘と傘立て、通学班の横断旗の寄贈がありました。置き傘は全部で60本ほどあります。急な雨でもなんとかかなりそうです。横断旗の方は順次交換していくようにします。
- 学校評価アンケートをありがとうございました。現在集計作業をしているところです。結果につきましては、学校運営協議会で報告した後にお知らせします。
- 2月2日に豆まき集会を行います。ただ、アレルギーのある子もいますので、大々的には行いません。各家庭で思う存分やっただけたらと思います。よろしくお願いします。

